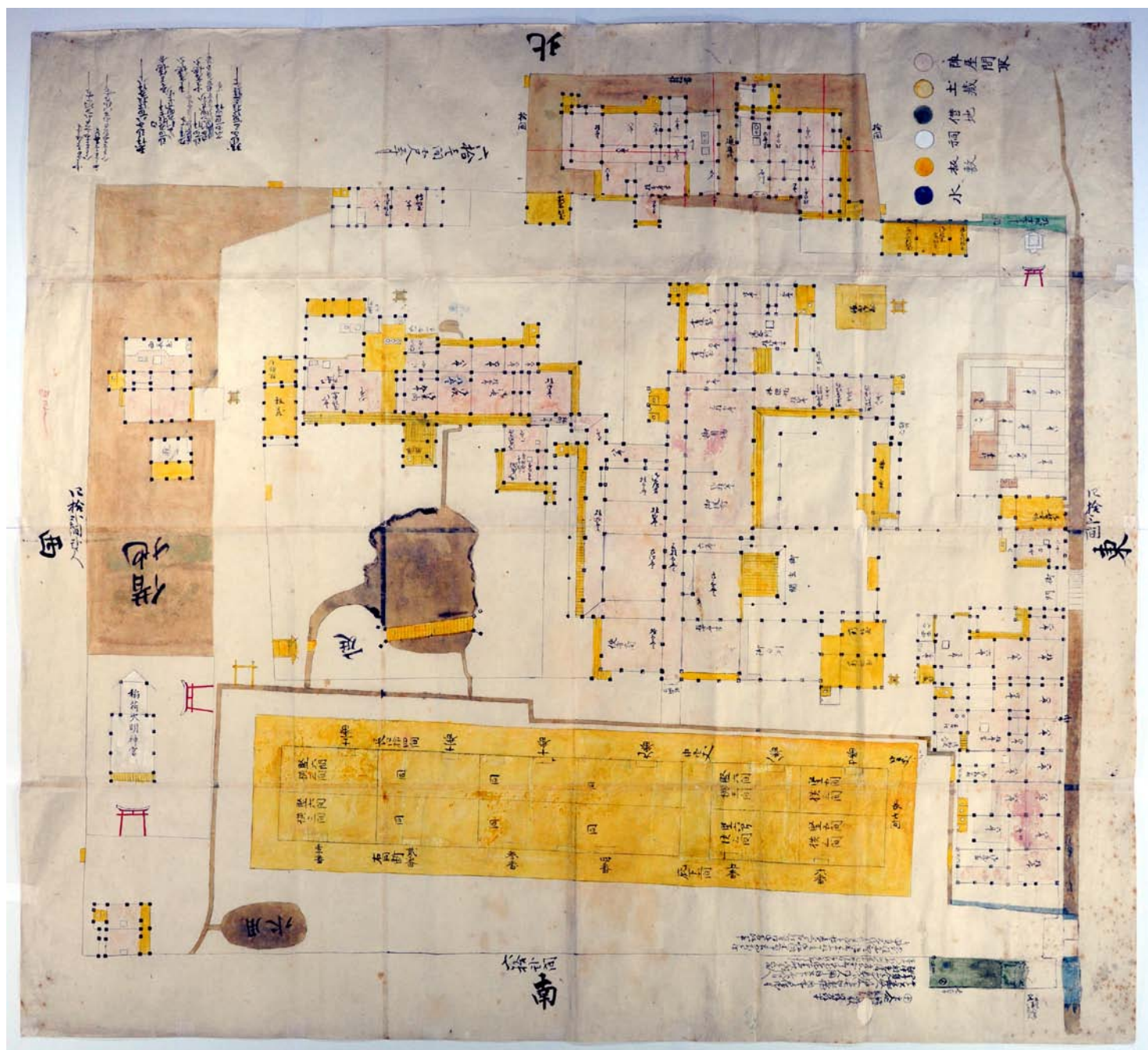




(第 25 図)

(27) 御陣屋絵図 (第 25 図)

年代 嘉永 4 亥年 (1851) 12 月写

寸法 109×119

所蔵 高山市教育委員会 (町会所文書)

この図は町年寄が所有していた高山陣屋の平面図である。

土蔵が 1～12 番まであり、それぞれの寸法は縦 6 間、横 3 間だが、6、7 番蔵のみ縦 5 間、横 3 間となる。現在の高山陣屋御蔵は、5～8 番蔵建物がなく、礎石がある。

北側は 61 間 5 尺 5 寸、南側は 62 間、東側は 43 間、西側は 42 間 2 尺の敷地寸法が記される。

西側には「稻荷大明神宮」があり、その上は厩で、借地の表記がある。

幕末における高山陣屋の全体がわかる建物配置平面図である。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をする
ことはできません。